

1. 件名：「志賀原子力発電所 2 号機の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング (47)」

2. 日時：令和 3 年 4 月 1 日（木） 13 時 30 分～ 15 時 30 分

3. 場所：原子力規制庁 9 階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、海田主任安全審査官、谷主任安全審査官、菅谷技術研究調査官、磯田係員、松末技術参与

北陸電力株式会社：小田執行役員 他 9 名 ※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 志賀原子力発電所 2 号炉 敷地周辺の地質・地質構造について 敷地近傍の断層の評価
- ・ 志賀原子力発電所 2 号炉 敷地周辺の地質・地質構造について 補足資料
- ・ 志賀原子力発電所 2 号炉 敷地周辺の地質・地質構造について データ集 1（空中写真・ボーリング柱状図・ボーリングコア写真・BHTV）
- ・ 志賀原子力発電所 2 号炉 敷地周辺の地質・地質構造について データ集 2（音波探査記録）
- ・ 志賀原子力発電所 2 号炉 適合性審査コメントリスト【敷地周辺の地質・地質構造】

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	原子力規制庁の谷です。
0:00:05	時間になりましたので、ヒアリングを始めたいと思います。志賀原子力発電所 2号炉敷地周辺の地質地質構造についてということで敷地近傍の断層の評価ということでヒアリングを行います。
0:00:20	まず資料のほう、説明をお願いいたします。
0:00:25	北陸電力の小田でございます。よろしくお願いいたします。本日は敷地周辺の 2回目ということでございます。前回のヒアリングを踏まえまして、°での確認事項を踏まえまして、土どめのほうで資料を再整理してきておりますので、
0:00:42	英語が国の方、よろしくお願いいたします。それでは人事ご説明をさせていただきます。
0:00:50	はい、北陸電力の藤田です。私のほうから資料の構成と概要を 5分程度で、最初説明します。説明は全体で 30分を予定しております。
0:00:59	資料は前回のヒアリングと同じく 4点ございます。1点目が、本資料、2点目が補足資料、
0:01:06	3点目がデータ集で今回空中写真のデータを追加してございます。
0:01:10	4点目が、敷地周辺に関するコメント一覧です。
0:01:14	それでは前回からの変更点を中心に説明いたします。
0:01:18	本資料の 3 ページ目をお願いいたします。
0:01:21	こちらの敷地周辺の説明の流れがわかるよう修正しております。
0:01:25	人丸めに敷地を中心として半径 5kmを境に①②の 2回に分けて説明することを記載しています。
0:01:34	二目に今回は①の近傍 5km以内の断層を説明すること。
0:01:40	また、都には長い断層を今回説明する理由として、
0:01:44	兜岩沖断層と連続する可能性が示された知見踏まえ説明することを期待しております。
0:01:50	三番目に前回の 2017年の会合で全体概要と地殻変動について御説明した際にいただいたコメントもあわせて回答すること。
0:01:59	4枚目に 5km以遠の断層は次回以降説明するというふうに記載してございます。
0:02:05	4 ページ目、お願いいたします。
0:02:08	敷地周辺の断層の評価結果で、
0:02:11	後期更新世以降の活動が否定できない断層を記載しております。
0:02:16	図表の見いだしの統一など、記載変更しておりますしておりますけども、データとしては 26断層で、前回から変更してございません。

0:02:25	5 ページ目、お願いいたします。
0:02:28	敷地近傍の断層の評価結果で本日説明する概要となります。
0:02:33	人丸めA敷地から 5km 範囲に分布する福浦 5 番島沖兜岩沖
0:02:41	次の長い断層の各断層につきましては、後期更新世以降の活動が否定できないと評価しております。ここは前回と同じ趣旨です。
0:02:49	2 行目のまた以降の記載で対応する断層が認められない、或いは活動は認められないとした断層等を図表では、スモールa-1 からA-3 っていうふうに記載している断層ですけれどもこれらを追加してございます。
0:03:06	Fたまる目の宮永断層と甲楽城つとが連続する構造がないと。
0:03:12	するものにつきましては前回のヒアリングで御説明した内容です。
0:03:16	6 ページ 7 ページを見開きでお願いいたします。
0:03:21	2 孔が断層の評価の見直しの経緯です。
0:03:25	前回のヒアリングでは、
0:03:27	1 ページにまとめて概要を示しておりましたが、今回は 2 ページの公衆に変更しまして、6 ページ目に既往評価と追加調査の経緯を
0:03:36	7 ページ目に追加調査の結果を踏まえた評価の見直しが対応を記載してございます。
0:03:42	まず 6 ページの既往評価では右側の拡大平面図で示す。
0:03:47	マルAのトレンチ調査で山側の緑のリニアメント位置に断層が認められないこと。
0:03:55	丸Bの中位段丘面調査により提案側の青色のリニアメントにつきましては、日本の矢印で引き出しておりますけれども、南北両側の中位段丘 I 面の高度差が認められないことを根拠に活動性を否定していた。
0:04:11	そういった経緯を記載してございます。
0:04:13	それを踏まえて 6 ページ目の下ですね、追加調査の必要性としまして、断層南方の東大村付近の中位段丘 I 面が市長規模であること。
0:04:24	これまでの審議内容を踏まえまして、より確実な評価を行う必要があるということから、断層の分布及び段丘面に関するちゅうか調査を実施することとした旨、記載しております。
0:04:35	7 ページ目では追加調査の結果ですね、①として、ボーリング調査、反射法地震探査により、逆断層を確認したこと。
0:04:45	②で断層北方の段丘面、
0:04:49	は、
0:04:51	認められたもの、③の
0:04:54	断層南方の段丘面調査では、

0:04:57	断層の活動費性評価として断層北方の段丘面高度と比較できる。
0:05:03	明確な段丘面は認められなかったと記載しまして、
0:05:07	それぞれの調査地点ごとの概要を 0mRB丸Cに追記しております。
0:05:13	これらの結果を踏まえて、色の枠内に記載の通り、活動性評価に用いるエビデンスが追加できなかったことから、
0:05:20	後期更新世以降の活動が否定できないと評価を見直したことを記載してございます。
0:05:26	8 ページ目は、前回から大きく変更した点はございません。
0:05:31	9 ページ 10 ページ、こちらコメントの一覧と回答の概要を記載しております。
0:05:37	10 ページのコメント概要ですが、2011 年の介護で地殻変動に関する
0:05:43	説明をした際にコメント、これは具体的に言いますと、一番 2 番、6 番 7 番、8 番になりますけども、
0:05:51	これらは
0:05:53	前回のヒアリングでは、次回以降説明するというふうにしておりましてけれども、資料の構成を見直した関係もありまして、これらのコメントにも、今回すべて該当することに変更してございます。
0:06:05	11 ページ 2 ページは目次になっております。
0:06:09	前回のヒアリングでは地殻変動に関する検討結果について、次回以降説明するというふうにしておりまして、資料はつけておりませんでしたけれども、今回、地殻変動に関する資料としまして、一章 4 節の 41 ページ。
0:06:25	能登半島の段丘面高度分布のデータですね、これをつけてございます。
0:06:29	それから巻末資料 2-201 ページになりますけども、感染性の下位水準変動
0:06:35	山城さんが 208 ページですね、段丘面分布高度と地質構造など議論に必要なデータを補足資料も含めて追加してございます。
0:06:46	また 2 章の 100 ページからですね、敷地近傍のその他の断層等としてリニア面に変動地形の判定僕されない、或いは活動性が認められない断層等の試料も追加してございます。
0:06:58	以上が概要の説明です。13 ページ以降は、キムラから説明いたします。
0:07:04	はい、北陸電力の木村です。
0:07:07	それでは 13 ページからの内容につきまして、前回から資料の記載を充実させた点についてご説明いたします。
0:07:16	まず 18 ページをご覧ください。
0:07:21	18 ページですけれども、今回敷地近傍の断層について議論するにあたって、必要な情報として段丘面の編年に関する説明を追加いたしました。

0:07:34	ここでは中位段丘 I 面はMIS5eに形成され得高位段丘面はそれより古い高海面期に形成されたという評価を記載しております。
0:07:45	次に 42 ページをご覧ください。
0:07:50	42 ページは能登半島の段丘面高度分布に関するコメントのナンバー1 に対応したページとなっております。
0:07:58	注意段丘 I 面の段丘面内縁標高は能登半島北部においては、20 から 120m に分布しておりまして、全体として南下がりの傾向を示していますが、敷地近傍や七尾性は沿岸では、
0:08:14	43 ページに拡大して示すように、標高 20mから 30mの間で一定でありまして半島全体の下限值に相当しております。
0:08:26	また中位段丘 I 面の一つの上位に分布する高位段丘 I 面の分布標高でも同様の傾向は見られまして、敷地近傍やナナオ製湾沿岸では最も低い値を示しております。
0:08:41	なおこの段丘面高度分布と地質構造等との関係につきましては後程巻末資料の 3 のほうで説明いたします。
0:08:51	次のページから 2 章ののほうに入りまして、45 ページからは 2.1 節で、敷地周辺の断層の評価の概要を示しております。
0:09:02	46 ページからは陸域の活断層評価フロー文献調査、空中写真判読結果日程でございまして、これらについては前回から内容に変更はありません。
0:09:16	50 ページには文献調査及び空中写真判読により抽出した陸域の断層等の名称と分布を示しております。
0:09:26	ここで名賞味水色で記載したものにつきましては、リニアメント変動地形は判読されないが、文献に実施された主な断層等を表記しております。
0:09:40	51 ページは 30km以遠の断層の分布と名称を示しております。
0:09:48	52 ページからは海域の活断層評価フローで文献調査を海上音波探査結果でこれについては前回から変更はありません。
0:09:58	58 ページは海域の断層等の名称と分布を示しております。
0:10:06	続きまして、61 ページをご覧ください。
0:10:11	61 ページは福浦断層の評価結果になりますが、今回上の箱書きのところで、断層の分布、活動性評価長さの評価。
0:10:23	につきまして、項目ごとに整理して記載をしました。
0:10:28	上から三つ目の括弧長さの評価のところで、断層の端点を決めた根拠を今回詳細に記載に記載しました。

0:10:38	まず点検調査により得たリニアメント変動地形の単点を超過しておりまして、さらに北方、南方における地表踏査表土はぎ調査、ボーリング調査、段丘面調査の結果を踏まえて、
0:10:53	F福浦断層の長さはリニアメント変動地形が判読されるへ約 2.7km区間を評価したということに記載しております。
0:11:03	以降のページはデータになっておりまして、今回記載を充実させた点について説明します。
0:11:11	まず 63 ページをご覧ください。
0:11:16	63 ページは福浦断層の地形調査になりまして、下の
0:11:21	についている地形断面図につきまして、
0:11:24	断層北部のB断面に加えまして、今回断層の南部のCとDの断面を追加しました。
0:11:35	また今回A断層周辺の空中写真のデータをデータ集のほうに添付しております。
0:11:44	次の 64 ページは、今回追加しましたページでございまして福浦断層リニアメント変動地形として判読した地形要素を詳細に記載しております。
0:11:57	左の図ではつけようそうお伝えしておりまして、福浦断層全線にわたって海側上暖かい逆向きの低外野へ直線上の谷等が連続的に認められ、北部ではさらに上盤側の撓み状の地形が認められるということを図示しております。
0:12:16	右の図は水系の屈曲についての説明で今泉ほか 2018 が図示した推定活断層の位置に水系の屈曲が認められますが、この屈曲は系統的ではないということから、
0:12:32	地形要素には含めていないということに記載しております。
0:12:38	次 65 ページをご覧ください。
0:12:42	大坪がダム右岸周辺において、緑色で示したCランクのリニアメント変動地形の直ぐに審議西側に直線上の谷が認められます。
0:12:54	設置変更許可申請書では、これをCランクの可決系の上盤側ということで、それに含まれる地形要素と考えて黒い破線で直線的なタニというふうに図示しておりましたが、
0:13:09	今回積がダム右岸のトレンチ調査結果を踏まえて、地形予想より丁寧に記載するということとして、Dランクのリニアメント変動地形として表記をしました。
0:13:23	また直線上の谷の南方延長にずっと分布している小規模な段丘面に東側への傾斜が認められまして、これもDランクのリニアメント変動地形として実施しました。
0:13:39	次に、69 ページをご覧ください。

0:13:46	69 ページの上の箱のほうの記載で今ほど説明いたしました。リニアメント変動地形の位置を横断するように、露頭調査を実施して、Dランクのリニアメント変動と変リニアメント変動地形とした直線上の谷のほぼ延長位置に
0:14:04	断層を確認したという経緯を記載しました。
0:14:09	続きまして 79 ページをご覧ください。
0:14:16	79 ページ福浦断層の北端の評価になります。
0:14:21	右の接触立体地図に示すように、大坪がダム付近からフラップ港の東部までは逆向きの低害が直線的に連続して認められますが、
0:14:34	さらに北方の白い枠で囲った部分については逆向きの低害が認められないということから、リニアメント変動地形は判読されません。
0:14:46	それから、上から二つ目の丸に記載している通り、リニアメント変動地形の北方延長において、実施した表土はぎ調査等の結果、福浦断層に対応する断層は認められないことから、リニアメント変動地形の北端を
0:15:01	福浦断層の北端と評価しました。
0:15:05	次の 80 ページに断層の北端付近の地形断面図をつけております。
0:15:11	下から三つ目の断面までは逆向きの低害が連続して認められますが、上の二つの断面には逆向きの低外というのは認められません。
0:15:22	次に、87 ページをご覧ください。
0:15:28	87 ページは福浦断層の南端の評価になります。
0:15:33	右の責任職立体図を示すように、唾固めの右岸音右岸及び左岸では逆向きの低害が連続して認められますが、さらに南方のS白い枠で囲った部分には、
0:15:49	逆向きの堤外というのは認められないということから、リニアメント変動地形は判読されません。
0:15:56	88 ページに断層の南端付近の地形断面図をつけております。
0:16:02	ここで赤赤枠で囲った部分の拡大図を 89 ページに示しておりますが、89 ページの一番上のCC'断面では、今回追加したDランクのリニアメント変動地形の延長位置において、
0:16:18	段丘面の東側への傾斜が認められます。
0:16:23	そして真ん中-D'断面では、Cランクのリニアメント変動地形の延長位置に分布する谷を挟んで東側が低い地形が認められますが、今回追加したDランクのリニアメント変動地形の延長位置に
0:16:38	段丘面の東側への傾斜というのは認められません。
0:16:42	さらに南方のS1S1'断面については逆向き崖等の地形は認められません。
0:16:50	次の 90 ページやリニアメント変動地形の南方延長における地質調査の結果をまとめたページとなっております。

0:17:00	91 ページの表土はぎ調査の結果、断層は認められず、92 ページのボーリング調査の結果が板上面はほぼ水平となっております。
0:17:11	93 ページは、浦断層の南方延長の中位段丘 I 面の旧汀線高度の調査結果で今回敷地内の 11' 断面というの追加で示しまして、旧汀線高度はほぼ同じ高度で連続するということを示しております。
0:17:30	94 ページは今回新たに追加したページですが、こういう段丘 1M 面についても、段丘面内縁標高はほぼ同じ高度で連続するということを示しております。
0:17:42	これらのことをまとめて福浦断層の南端の評価を記載したのは、87 ページの二つ目の丸上の二つ目の丸になります。
0:17:53	リニアメント変動地形の南方延長において表土はぎ調査、ボーリング調査、段丘面調査の結果を踏まえて、リニアメント変動地形の南端を福浦断層の南端と評価したということに記載しております。
0:18:10	次に 99 ページをご覧ください。
0:18:15	福浦断層周辺のブーゲー異常図になりますが、ここでは大局的に広い範囲の構造も見えるように、前回から図の範囲を少し広げて示しております。
0:18:27	福浦断層の説明については以上になります。
0:18:31	続きまして 100 ページからスピーチ近傍のその他の断層等について、今回治療を追加しますので、それについて説明いたします。
0:18:41	101 ページが評価結果をまとめたページとなっております。
0:18:46	文献によれば、敷地近傍には福浦断層のほかに永田付近の断層は構台南の断層、高津部森山付近の三条のリニアメントが図示して図示されております。
0:19:00	地形調査、露頭調査の結果結果から、これらの断層はいずれも後期更新世以降の活動はないと評価をしております。
0:19:09	以降のページにデータをつけておりまして、102 ページは文献調査結果 103 ページは地形調査結果で 104 と 105 ページに地形断面図をつけております。
0:19:22	地形調査の結果、104 ページの右の BB' 断面と CC' 断面、それから、105 ページの DD' リーダーシップ断面と' 断断面に示すように、リニアメントの推定位置、
0:19:38	を挟んで段丘面に高度差は認められないということから、高津森山北西方にと高津森山東方リニアメント A は構台南の断層の評価については、
0:19:52	後期更新世以降の活動は認められないというふうに評価しました。
0:19:58	ここで申し訳ありません 104 ページのほうに記載の間違ひがありまして、104 ページの左下、下の四角の箱書きの 4 ポツ目になりますけども、
0:20:10	高津森山北西方にリニアメントの推定位置を挟む高位段丘 5 面に高度差はないというふうに記載ありますけども、これ正しくは高津森山東方リニアメントの、間違ひでございました。



0:20:24	申し訳ありませんが、これは誤記ですので、次回以降訂正させていただきます。
0:20:32	続きまして 106 ページからは、地質調査のデータとなっております、107 ページは永田付近の断層の露頭調査結果になります。
0:20:43	リニアメント変動地形の近傍において、さき固相は穴水累層を不整合に覆っているということを確認しております。
0:20:54	次の 108 ページの連続露頭においても穴水累層と草木固相の不整合面を確認しましたが、断層は認められませんでした。
0:21:04	この露頭の前線の写真については、補足資料の 2.2-2 のほうに添付しております。
0:21:12	それから 109 ページは高津森山北西方法 1 リニアメントの露頭調査結果になります、リニアメントの推定位置を横断する連続露頭においてA断層は認められません。
0:21:26	以上のことから、101 ページのほうに評価記載しておりますが、永田付近の断層は穴水累層と佐々木互層の地質境界で地層境界を反映した差別侵食地形であり永田付近の断層に対応する断層は認められないと評価しております。
0:21:45	また且つ森山北西法 1 リニアメントに対応する断層も認められないと評価しました。
0:21:53	最後 210 ページにブーゲー異常増へ示しておりますが、敷地近傍のその他の断層等に対応する重力異常急変部は認められません。
0:22:04	続きまして、134 ページをご覧ください。
0:22:11	134 ページは兜岩沖断層南端のナンバー9.25S側線でございますが、この
0:22:20	この測線において、地層に西落ちの撓みが認められるということについて、前回のヒアリングで口頭で説明した内容でございますが、上から二つ目の丸のところ、これは侵食によるものと判断したという根拠を記載しております。
0:22:40	次のページのナンバー9.5-S側線についても同様に記載しております。
0:22:48	続きまして、140 ページをご覧ください。
0:22:54	140 ページあと右側が断層の評価結果になりますが、上の箱書きでA断層の分布活動性評価長さの評価について、項目ごとに記載しております。
0:23:07	この次のページからはデータを示しております、今回記載を充実させた点について説明します。
0:23:16	まず 142 ページの点け調査につきまして、今回 143 ページに点け断面増追加で示しました。
0:23:27	また 144 ページに右側ガンガン断層をリニアメント変動地形として判読した地形予想を詳細に記載しております。

0:23:38	上の図では地形予想記載しておりまして、リニアメント変動地形はほとんどの期間で丘陵斜面に見られるやや解析された、急崖からなっているということを図示しております。
0:23:52	また中央部付近では中位段丘面とこっち扇状地の外縁に見られる堤外と丘陵斜面の直線状の経済返還部から成る日本のリニアメント変動地形が判読されます。
0:24:09	また下の図では水系の屈曲について説明しておりまして、今泉ほか 2018 が図示した推定活断層の位置に青い色で図示したように水系の屈曲が認められるものの、
0:24:24	この屈曲は系統的でないということから、リニアメント変動地形の地形要素には含めていない旨を記載しております。
0:24:35	次にです 145 ページからトレンチ調査とボーリング調査結果になりまして、これについては、前回から変更ありませんが、1ヶ所記載漏れがありまして、147 ページをご覧ください。
0:24:53	147 ページの左上に位置図、右に断面図を示しておりますが、右の断面図に対応する位置が左上の位置図のほうに示されておりました。この断面は、
0:25:09	位置図で赤丸で示したボーリング位置を通るBB´断面とさらにその東側を通るsec´断面になります。
0:25:19	これにつきましては、申し訳ありませんが、次回以降、図のほう修正させていただきます。
0:25:27	続きまして 149 ページをご覧ください。
0:25:33	149 ページの段丘面調査の結果、右側が断層について、後期更新世以降の活動が否定できないとした根拠については前回から変更はありませんが、この上の記載の 3、
0:25:49	三つ目の丸の記載の 2 行目、のなお以降の文章で記載を一部修正しております、
0:25:58	断層南方の高位段丘 4 万円以上の段丘面については、会議の段丘面が近接して分布せず、段丘面区分の確実性に欠けるため評価に用いないと。
0:26:10	いうふうに、なことを丁寧に記載しております。
0:26:15	次に 157 ページをご覧ください。
0:26:20	157 ページはリニアメント変動地形の北東たんの広場評価について、今回追加したページになります。
0:26:29	右の接触立体図に示すように、時当町から和田付近までは直線上の急崖等からなるリニアメント変動地形が判読されますが、さらに北東方では肝癌の即応侵食により、

0:26:44	点け協会が弯曲しているということで、さらに北東方の今田付近において、崖の延長部を横断するように分布する尾根に高度差が認められないということから、
0:26:57	掛の直線性連続性が途絶える地点をリニアメント変動地形の北東東端と評価しました。
0:27:04	なお、今泉ほか 2018 が黒い色の点線と矢印で示すように、リニアメント変動地形の北東単位にも、さらに北東方に推定活断層と水系の屈曲を図示しておりますが、
0:27:22	先ほど 144 ページで御説明したように屈曲は系統的ではないこと、それから推定活断層を横断するように分布する尾根に高度差は認められないということから、当該期間にはリニアメント変動地形は判読されないと評価しました。
0:27:41	158 ページには報告東端付近の地形断面図をつけております。
0:27:48	次の 159 ページのブーゲー異常図につきましては、福浦断層と同様に範囲を広げて示しております。
0:27:56	前回示していた拡大した範囲の図は 160 ページのほうに示しております。
0:28:03	それから 163 ページに南西方延長にあたる海上音波探査記録をつけておりますが、今回 164 ページに南北方向の測線の記録を追加で示しまして、
0:28:18	端部を 2 方向の A 測線から確認できるようにしております。
0:28:26	次の 165 ページ後岩永断層の長さの評価のまとめになります。
0:28:32	上の箱書きの 4 四つ目の丸の記載の通り、岩永断層の長さについては、リニアメント変動地形が判読される約 6km 区間に加え、北東側重力異常の鉛直一次微分値が 0 のコンターが屈曲するまでの期間、
0:28:52	南西側、会場の一歩探査記録で断層は認められなかった。測線までの区間を含めて、約 9.0km 区間を評価しました。
0:29:04	続きまして、201 ページをご覧ください。
0:29:12	201 ページ、これは今回、資料を追加しました巻末資料の 2 につきまして、説明いたします。
0:29:21	この資料は、完新世の改正 10 変動や気候変動についてのコメントの No.2 に対応したものとなっております。
0:29:29	202 ページをご覧ください。
0:29:34	第 531 回審査会合におきまして、能登半島西岸域に分布する波食ノッチや、旧沖積段丘面などの海岸地形につきましては連続的な海面低下により溢水したということを説明しました。
0:29:50	この前回の説明については、補足資料の 1.4-2 のほうに資料をつけております。

0:29:58	前回審査会合では、この 202 ページの右の図で超過長官たい生物遺骸化石の分布と年代から改正準変動を推定したことを説明しましたが、これについて、日本界側など、
0:30:14	他地域の研究事例との比較や気候変動の調査結果との対応について検討を行いました。
0:30:23	まず 203 ページに日本海沿岸の下位水準変動に関する研究事例を示しております。
0:30:31	日本界側の研究事例として三つの文献のデータとへの担当西岸域のデータを比較して示しておりますが、
0:30:41	日本界側の研究事例では限られたデータから下位水準変動が推定されておりまして、統一的な下位水準変動の傾向は認められませんでした。
0:30:53	次の 204 ページは、日本列島と同様に、局地方から離れた地域A地点で報告された世界各地の下位水準変動に関する研究事例を示しています。
0:31:06	世界各地の下位水準変動は、
0:31:09	約 1000 年から 3000 年前における高海面期と。
0:31:14	約 1000 年前以降における海面低下が認められまして能登半島西岸域で推定した下位水準変動と整合的となっております。
0:31:26	また 205 ページは、過去 2000 年間の世界各地の気温の変化、
0:31:33	206 ページは世界各地の界面温度の変化 207 ページは世界の表彰変動の文献を示しておりまして、いずれも能登半島西岸域で推定した下位水準変動と、
0:31:49	整合的な経験傾向が認められております。
0:31:54	以上がコメントNo.2 に対する換え回答になります。
0:31:59	続きまして 208 ページをご覧ください。
0:32:03	これは今回、資料を追加しました。巻末資料の 3 について説明いたします。
0:32:12	この資料は、能登半島の段丘面高度分布と地質構造重力異常時机上や水準点標高のkJ変化との関係についてのコメントコメントのNo.678 に対応したもののとなっております。
0:32:31	まず 209 ページが検討結果をまとめたページとなっております。
0:32:36	能登半島の段丘面高度分布については能登半島北部や高く、敷地近傍では低いという特徴が認められたことについて、地質地質構造等の特徴について整理しました。
0:32:51	以降のページにデータのほうをつけております。
0:32:55	210 ページは離型域の地形二百十一、二百 12 ページが入っての地形のデータを示しておりまして、能登半島北部では、断層活動による変動地形が認められるに対して、敷地近傍では、

0:33:11	そのような変動地形は認められません。
0:33:14	また 213 ページに地質平面図、214 ページに地質断面図を示しておりまして、能登半島北部では顕著な断層褶曲構造が認められるに対して、敷地近傍では顕著な断層褶曲構造は認められません。
0:33:33	次に 215、216 ページは重力異常と地質構造との関係を示しておりまして、能登半島北部では、断層に沿って明瞭な重力異常急変部が認められるに対して、敷地近傍では、
0:33:49	重力異常急変部は認められません。
0:33:52	次の 217 ページは磁気異常との関係を示しておりますが、磁気異常については、両地域に明瞭な差は認められません。
0:34:03	218 ページは水準で標高の刑事変化を示しておりますが、のパート北部と敷地近傍に明瞭な差は認められません。
0:34:14	以上の結果をまとめたのは 209 ページの上の
0:34:19	この二つ目の丸以降の記載内容の記載になりまして、能登半島北部では、地形や層の顕著な変位変形が認められ、断層に沿って直線的に連続する重力異常急変部が認められました。
0:34:35	一方を敷地近傍ではそのような顕著な変位変形や重力異常急変部は認められませんでした。
0:34:43	よって、領域、両地域における段丘面高度分布の差は活断層による地震性隆起が使用しているのではないかと。
0:34:52	いうふうに評価をしました。
0:34:56	資料の説明は以上です。
0:35:04	規制庁単位で説明ありがとうございました。
0:35:07	それではちょっと資料の確認に入っていきたいと思います。
0:35:11	私のほうからなんですけど、今回の資料っていうのが、前回の
0:35:18	ヒアリングから変わった点として大きく追加された点としてはこれまでの
0:35:25	過去の会合のコメントに対して全部該当しますよと言ったことが増えたのと、
0:35:33	あれですね、5 キロ圏内に 5km 圏内というのが敷地近傍の中にあるリニアメント等については一通り説明しますよっていうような資料の内容かと思ってますんで、多分、私はこれで資料の立て付けという部分では、
0:35:51	すごくわかりやすくの前回と比べてですね、起こりやすくなったかなと思っています。
0:35:57	それで、ちょっと最初に後世的にお願いしたいこととして、
0:36:05	今回結局陸域の

0:36:08	断層の話、海域の断層の話、或いはリニアメント活断層になってないようなりニアメントの話とかいうこうなんかいろんなこうタイプの断層リニアメントは使っていて、
0:36:23	何ていうんすかねぜ全体のそれぞれがこう着目点だとか、まとめる評価結果っていう最後の行ゴールが違うと思うんですよね。で、その評価の流れとその結果みたいなのをちょっとできたら、最初に
0:36:40	この資料全体の評価の概要みたいなのが、
0:36:45	概要というか調査の流れとその結果に至るまでの過程というのがわかるような何かつけていただけたら、
0:36:55	理解がしやすいかなと思うんですけど、その辺、いいですかね、お願いして、
0:37:03	北陸電力の浜田でございます。まず全体の流れの入れる場所というのは、目次の前のまずイメージでよろしかったですか。
0:37:14	規制庁タニそうですねはじめにのところにでいいと思いますよその3ページ以降とかで、
0:37:21	その辺はお任せしますが、これを見たら今回の資料の範囲だとか、流れだとかかわかるよってというようなものを
0:37:31	流れとあと結果ですね、そういったものをつけていただいた御社の場合は例えば活動性評価とかでも何か綺麗にこう流れがわかるような資料をつけていただいていたと思うので、そういったイメージでつけていただけないかなというところでは。
0:37:48	はい。ほふり電力のハマダです。わかりました。フローといいますか流れ図のような形と、あと今回対象としている敷地近傍とちょっと今回は手が長い断層の対象にしていますので、それらの断層の名前を明記しながら、
0:38:03	調査のポイントと評価の結果ですねそういうのをまとめたものをつけさせていただきたいと思います。以上です。
0:38:16	はい、お願いします。
0:38:18	あとですねちょっと私内容の方にプールから入っていきたいんですけども、
0:38:23	前回のヒアリングでもちょっと確認したことに対して、文献例えば文献で引いてるリニアメント等御社の評価の違いみたいなのを、
0:38:37	例えば、
0:38:39	福浦断層だったらどこですかね。
0:38:42	64ページだとか、各断層でつけているわけなんですけど。
0:38:49	ちょっとこれを見て思ってるのは、これ評価の
0:38:54	例えば福浦断層だったら屈曲が今、泉ほかが表示しているのは、

0:39:02	屈曲を示してるんだけどそれは御社のほうの判断としては系統的ではないとかですね、或いは、
0:39:11	これはやはり時が何か断層も同じような評価
0:39:14	の文章があったのと、
0:39:17	或いは今回 5 キロ圏内でリニアメントを見ているところが、
0:39:22	どこだったかな。
0:39:25	101 ページですか。
0:39:29	これ、
0:39:31	リニアメントっていうのが文献で選ばれているようなものが御社が判読したら、一つも一つもじゃないか、一つものじゃないんだけども、リニアメントとして判読できませんよっていうようなことが書いてあるんですけど。
0:39:47	この辺って、
0:39:50	何がその違いに現れてるんでそのなんか精度の話なのか、見方が違うのか。
0:40:00	どうして文献であるって言われたものがないっていう評価に
0:40:08	上書きできるのかですね、その辺のちょっと考えをお聞かせ願えますか。
0:40:18	北陸電力のノハラです。
0:40:20	我々はそういったリニアメントですとか、段丘面につきましては、
0:40:26	49 ページに示しますような空中写真判読、
0:40:30	をベースに行っております。
0:40:32	こちらの 49 ページのほうにへいろいろな空中写真の一覧。
0:40:37	縮尺ですとか、撮影斜面ラインの方。
0:40:40	示しております、我々としては、こういった空中写真判読、
0:40:44	そしてあとですね、航空レーザー計測赤色立体地図も幾つか載せておりますが、
0:40:49	そういった航空レーザー計測で植生の影響、これ取り除いた知見出ますので、そういったものをMながらリニアメント変動地形段丘面のほうへ記載しております。
0:41:01	文献のほうにつきましてはもう我々のこういったものを見てるかというのが書いてあることしかわかりませんが、例えばある文献ですと、当社が読んでも口出しよりも、縮尺が粗いとか、
0:41:16	そういったような違いはあると思います。こういった見るものの違いから、
0:41:22	またその判断基準の違いですね、そういったものからこういった違いが出てくるのではないかというふうに考えております。
0:41:29	以上です。
0:41:33	規制庁タニです。

0:41:34	言わんとしていることは
0:41:38	見ているもとのデータが複数見てたり精度が高いようなものを用いてたり ってことを言われてるんだと思うんですけど。
0:41:48	やっぱりですね、どうして
0:41:52	どうしてこうまあ評価が違うのかっていうのをですね、何かしら説明限るのかな というふうに思ってます、例えば、
0:42:01	101 ページのですね。
0:42:04	文献がであるけど、ここもないよって言ってもかその内容っていうことしか書いて ないようなものっていうのは具体的には
0:42:15	なんて言うんですかね。
0:42:20	具体的には何を
0:42:24	何が
0:42:26	あるとされてたものが何がなかったのかとかいうのはどこを見たらわかるんで すかね。
0:42:33	例えば、その他のリニアメントとして 101 ページに書いてあるような
0:42:38	リニアメントに対しての御社の評価ですね。
0:42:44	はい、北陸電力のノハラです。
0:42:47	例えば 103 ページのほうをご覧いただきたいんですが、
0:42:51	103 ページのほうの右側のほうに赤色立体地図を載せておまして、
0:42:56	左側のリニアメント変動地形分布図とあわせて見ていただきたいんですけど、 左側の図面のほうには高津森山北西補 1 リニアメントですとか、そういった文 献断層トレースされております。
0:43:09	そのトレースしてある部分を右側の赤色立体地図では黒い矢印で示してお ります。
0:43:14	この赤色立体地図といいますのは我々空中写真判読して立体的に見えるもの を第三者の方にも
0:43:23	比較的に見やすくするためのものになりますが、
0:43:26	こういったものを見ますと、この文献断層として入間の黒い矢印で挟まれたと ころにつきましては、何らかの
0:43:34	もうに地形のようなタニ地形ってのが実際見えるんですが、これが直線的 ではないと、例えば福浦断層を示しているところ見ますと非常にまあシャープ で直線的な
0:43:48	崖地形がいろいろに対しまして、こういった文献が引いてあるところにつきまし ては、そういった直線性がないと。



0:43:56	こういったことから、我々としては、こういうところにつきましては、リニアメント変動地形を判読していないと。
0:44:02	例えばになりますがこういった考え方になります。以上です。
0:44:07	はい、規制庁タニです。
0:44:09	ですね、きっとそういうことをですね、何か判断されている仮定がきっとあるんですよ、このリニアメントというのは、こういったものを引いているんだろうと。
0:44:20	或いは文献にこういったものを引いているというのが書いてあるのもあるのかもしれないですけど、それをもって自分たちで見たら、やっぱりそれはこういうふうに見しか見えない。なんか直線上ではないとか、何かしら
0:44:39	あるなしの判断をちょっとちゃんと示していただきたいと思うんです。
0:44:48	でしょうか。そんな中でしょうがない。
0:44:51	規制庁ナイトウですけども、細かい話にちょっとんだけど、まずに資料構成としてきちんと書いて欲しいのが文献で示されている断層がどういうものがありますとそれは書いてあるんだけど、御社の場合だとまず福浦から始まってんだけど。
0:45:10	福浦については、じゃあ、文献はどっからどこだって言われて何キロって言われてるんだけど、それに対して調査をした結果として皆さんは何を根拠にどこを端部としてその担保端部の間の長さとして何kmになったのかってのは、結局、
0:45:27	明確に書いてないので、そういうことはちゃんと書いてください。
0:45:31	り、
0:45:46	えっとね、ちゃんと資料の中から読み取ってくださいではなくて、ちゃんと結果として、
0:45:51	何を端部として決め判断をして、それからその間を何京都支店の方が明確にちゃんと結果としての部分を1まとめてください。
0:46:03	で、
0:46:04	こっこの今議論しているような、近傍のやつ
0:46:09	リニアメントとして文献で言われてるやつについては、刀禰一括で何かいろいろと書いていて、これどういう評価なのか何を根拠に
0:46:19	北陸電力としてないとしたのかな、非常にわかりづらい。
0:46:23	一步一步ちゃんと書いてください。
0:46:26	1本1本、どういうふうに言われているというか、対して、皆さんが何をやったんですかと何を根拠に
0:46:36	ないとしたのか。
0:46:39	地形判読だけでいいますとしてるんですか。

0:46:43	現地踏査をして、きちんと断層という指定見られるようなものが示されているところなかったということを持ってやっているのか。
0:46:52	少なくともボーリング等をやってないっぽいんだけど、何を根拠にないと判断をしたのかってのは一つ一つのリガメントに対してわかるようにちゃんと書いてもらえませんか。
0:47:08	北陸電力の浜田です。まず最初のほうのエース文献の長さ我々の変形評価した最終的な長さをわかるような形といいますのは先ほどタニさんがおっしゃられた
0:47:23	目次前に全体像をしっかりと示したところのところ、表の中に最初の形になることは言っていない。
0:47:32	ただですね。そうですか。はい、こんなこと言っていない福浦断層の評価としてどういう表彰者のってのちゃんとどこに求めているの。
0:47:40	福浦断層の評価ですと、1枚ものとしてまとめてますが、ページで言いますと61ページになりまして、文献で長さ流れ示されている。
0:47:53	空くかも言ったからこうだと足りないっている。
0:47:58	文献フジタどういうことを言われていって皆さん何を担保として決めているの。
0:48:03	どこを端部と端部の根拠は何ですかこれ。
0:48:08	端部の根拠は我々の変動地形が読めるところまでの北と南ということはこの61ページの左側のほうですね。
0:48:18	北は地形的に逆向きの堤外が認められなくて、認められるとまとめられたとしても置かないで、
0:48:26	この地域では認められないここまでは認められるじゃ認められるところどこ何を担保にしてるんですか。
0:48:38	端部といいますのは今61ページ見ますと、この売り上げで変動地形の書かれている黄色の線の一番初めまでが端部と考えております。
0:48:53	だから、時施設などでリニアメントの端部がどうやってくれてる。
0:49:00	それは、
0:49:01	ハマダですけども堤外が認められている区間と今考えております。
0:49:09	規制庁なんですけど、口頭でやめてもらえませんか。
0:49:12	図面でちゃんと示してください。ここまでは低下が認められてここから先はこういう状況になっていてちゃんと示した上で、なのでここを端部として決めましてちゃんと書いてもらえませんか。図面で示してください。
0:49:26	で、地形を判読した地形も示してください。ちゃんと。

0:49:30	はい。それがですね 60、4 ページに、6364 らか新しいまでちゃんと書いてくださいと言っているあっち見てくださいこっち見てくださいやめてくれって言ってんだけど。
0:49:45	おはようございます。61 ページのまとめのところではわかるような形で書かさせていたきたいと思います。
0:49:54	それ、
0:49:56	はい。あと二つ目の近傍につきましては、今は 4 本、それぞれちょっとまとめた形で書いておりましたけども、それ 1 本 1 本負けた形でまとめさせていたきたいと思います。
0:50:11	以上です。
0:50:14	規制庁けど他の断層もみんな同じですからね、ちゃんと一方この断層については何を根拠に田んぼなりに持って何をどこで何判断に基づいて、どこの地点を端部にしたのかってのを、
0:50:27	わかるようにしてください。あとは言うときさっきの
0:50:32	断層がナイトウリニアメントみたくないと言ってるのは、
0:50:36	それぞれこれ結果として地形判読でナイトウしたからないとしてるんですか。
0:50:46	北陸電力のノハラです。
0:50:49	駄目 101 ページでいたきたいんですが、
0:50:53	こちらのほうで
0:50:56	ふうん。
0:50:58	こちらの方のうち、高津森山左側に
0:51:03	真ん中の調査位置図の周りに枠が五つ書いてありますが、そのうち左側に書いてあります高津森山北西方にリニアメントとその下の高津森山の北西戦うつもりは東方リニアメント、
0:51:18	あと右側のほうに書いてあります。構台南の断層、この三つにつきましては、地形判読で
0:51:26	地形判読で活動性のほうをないと評価しております。
0:51:30	以上です。
0:51:41	規制庁ナイトウですけれどもそうするとその三つのリニアメントについては、
0:51:46	地形判読だけで、
0:51:50	地形判読であると言われるリニアメントで推定されてるやつの地形判読でいや、北陸電力としてはないと判断をしたというだけですね。
0:52:01	地表踏査とか、何もやってないという理解でよろしいです。

0:52:07	はい、北陸電ハマダです。まず文献で書かれて今のものにつきましては、地表踏査といいますのは全般的にくまなく見ておりました、そこを通過していると考えられるタニ地形、
0:52:22	がございますけれどもそういうタニのどこにも断層がないことは確認してございますので、そこについても書かさせていただきたいと思います。あとちょっと先ほどのコメントとも再三の質問とも関連するんですけども、そこら辺のつきましての2、
0:52:37	新編日本の活断層の、これ角形確実さん、これは何なんですけれどもこちら辺は新編すいませんデジタルマップに変わる際に、これまで日活とかですと、空中写真で見られた直線上の谷がある。
0:52:56	を変えたケースもあったんですけどもそれを見直した際にそういうものが変動地形としては見ないということで、ここにつきましては、102 ページにあるんですけども、デジタルマップになってなった際はこちら辺のものが
0:53:12	すべて消されているということもありますのでそこもわかるような形でまとめさせていただきたいと思います。以上です。
0:53:21	一応ナイトウですけども、ねここに限らずで全部そうなんだけど、この文献でここを言ってますっていう形。
0:53:30	理由だけではなくてね、ちゃんとそれぞれの文献でどういうふうに示されているのかってのはちゃんとつけてもらえませんか。
0:53:44	北陸電力のノハラです。多分県でどのような根拠で実施されているか、そういったことを資料に記載したいと思います。以上です。
0:53:57	あとは今口頭で説明されていたけれども、前の盤には載ってたんだけどそのあと示されてないっていうのがあるんであればそれをわかるようにちゃんと
0:54:09	示してもらえませんか。
0:54:12	北陸電力ノハラです。了解いたしました。以上です。
0:54:21	規制庁タニです。ちょっと違う話をさせていただきます。
0:54:26	と海域の活断層で
0:54:31	例えば 116 ページ。
0:54:34	これを伴島沖断層の活動性っていうことで、反射法の
0:54:39	図面載ってますんで。
0:54:43	これ断層位置を認定していると推定したということになってますけど、この図面に例えば何か広告どこ認定してるのかっていうのを書いてないんですよ。一方で、例えば兜岩沖断層だったら、
0:55:01	推定活断層というような形でですね。
0:55:07	例えば 129 ページだったりす。

0:55:10	備考断層括弧破線を推定っていう形で書いてるわけなんですけど、この辺はどうして記載の方法が違うのかわざと書いてるのか。
0:55:23	それとも認定
0:55:26	認定してるのかしてないのかというのが知りたいんですけどここまで推定しているのかというのをですね。
0:55:32	その辺ちょっと教えてください。
0:55:36	北陸電力のノハラです。
0:55:39	129 ページの兜岩沖断層、これにつきましては今赤線で断層というの解釈断面図を記載しておりますが、これが書いてある部分って言いますのはあるはさ面を追いかけていったときに、それから連続せずに途中で
0:55:56	だんだん
0:55:58	断続といいますか、途切れていると、そういったときに、こういった赤い線の断層線をさせ、
0:56:06	待ってます。
0:56:08	一方ですね
0:56:09	例えばその 129 ページの方 3 カイダ上の反射面ですとか、
0:56:13	116 ページの 5 番島沖断層、
0:56:16	続きましては、
0:56:17	これらは販社のパワーンではいるんですが、連続的に追いかけられると。
0:56:24	こういったときにはこの断層マークを入れておりません。何で実際ここに 5 番地模擬断層があるんでしょうけど反射面の追えるか追えないか、そういった違いで、この表現方法っております。
0:56:38	以上です。
0:56:40	はい。
0:56:42	今後ことはそういうことなんです。ただ、128 ページのところ見ると、
0:56:47	これはあれなんですけども、これを見ると、
0:56:50	いてもいるんだけど、何か書いてるような
0:56:54	先ほどの説明とちょっと合っていないんじゃないかなと。
0:56:57	思うようなところがあるんですけど。
0:57:06	はい、北陸電力のノハラです。
0:57:09	これは 28 ページ見ますと、これちょっと見にくいんですが、
0:57:15	これ
0:57:17	先ほど説明さ 129 ページと違いまして粗いと分解能のスーパーカーの側線となっております。そういったことから、ちょっと見え方が、これ小さくて見えないんですが、データ集のほう、

0:57:30	見ていただきますと、これ途切れているのか、わかると思いますので、ちょうど先ほどのルール通りの記載となっております。
0:57:38	以上です。規制庁タニです。
0:57:41	えっとね、僕の方がちょっとお願いしたいのは、例えば 116 ページで、
0:57:48	南落ちの撓みが認められるとか、そういったところがどこの範囲のことを言うのかっていうのを、
0:57:56	ちょっとわかるようにしていただけたらなと。
0:58:01	撓みはどこまでを考えて、どっかのは、御社のほうとしてはたわみを認めていないのかとかですね、その辺が資料上わかるように、これだったら撓みがありますよっていうときながらどこまでたわんでいるかは見る人で判断してくださいみたいな感じに
0:58:19	私はちょっとそういうふうになんか取られてしまうので、何かどこまでたわんでるってしているのかっていうのはですね。
0:58:28	何かしらでこう見えるようにしていただけたらと思います。
0:58:35	はい。連絡の流れです。今おっしゃったことがわかるように、資料のほう、
0:58:41	記載させていただきたいと思います。以上です。
0:58:47	はい。規制庁田尻ですお願いします。
0:58:50	ちょっとすみませんなんかいろいろ飛んでしまって申し訳ないんですけど、
0:58:55	あとはですね、107 ページ。
0:59:00	これさっきのそのますますリニアメントの話に戻ってしまうんですけど。
0:59:04	107 ページってこれリニアメント等、
0:59:08	現地見にいった用途でこれは地層境界で差別侵食が
0:59:15	あるっていうふうなことで、リニアメントの原因というのを考えてるということなんですけど、これって地層かも違うんだよっていう穴水累層と
0:59:25	草木互層っていうのは、
0:59:28	これはどう。
0:59:29	地層としては、何が違うんですが、
0:59:33	どう。
0:59:34	どういうところ。
0:59:36	の違いがあるんですけどその穴水累層はこんな地層だけどくさ規模とこんなものっていうのは決定的に違うのは何なんですか。
0:59:46	陸電力の小林です。違いとしましては、穴水累層の方が、火山岩になりまして、さっき 5 層のほうがいい大事違いになっていると 107 ページのほうで言いますと、右下の、

1:00:03	編成額のところに同一から構成されるかということが記載されておましてで 穴水累層ですと凝灰角礫岩、
1:00:14	が主体となっていると。
1:00:15	b一方で草木 5 層のほうですと泥岩地帯になっているということで、岩相の違いがあるので、
1:00:24	そういう期ずれ方にも差が出てくるようなことが、
1:00:28	考えるということになります。以上です。
1:00:34	規制庁タニです。だから堆積岩と火山岩の違いだと
1:00:40	あれですよ。これ地質図とかでも、こういったところに境界があるっていうこと でいいんですかね。
1:00:51	陸電力の小林です。はい、H数の方にも東海がありまして、左 107 ページの左 上のほうに、
1:00:59	いい地質図を載せておまして、洞道調査位置のところでございで色が違って おまして、地質が変わっているというふうに時正常でも記載しております。
1:01:11	以上です。
1:01:12	規制庁単位ですごくありました。
1:01:17	モットーですねえ。
1:01:24	これまでも資料ついてたんですと気が湾岸断層で
1:01:28	データ取得を見ても某ホールテレビの結果がなかったり、断層は捕まえている んだけれども、
1:01:36	層厚傾斜っていうのが、
1:01:40	なんか資料を見る限りなかったんですよね、ボーリング孔あるんだけど走向傾 斜がないと、これはホールテレビやってないボーリングなんですか。
1:01:52	北陸電力 1 社です。
1:01:54	この 147 ページですとか 148 ページに示しておりますディーゼル 1 孔なんです けれども、
1:02:01	このボーリングに関しましては、ホールテレビについてはちょっと調整をしたん ですけれども、この決心中にですね、ちょっとやはり思っ
1:02:10	断層周りが孔壁が崩れてきまして、ちょっとボアホールができなかったという経 緯がございます。そのために、ちょっとここはホールテレビについては、このボ ーリング孔につきましてはお付けしていないという状況でございます。以上で す。
1:02:28	規制庁タニです。
1:02:30	つまり、

1:02:33	ボールテレビはあるんだけどこの区間がないっていう話なんですけど、このちょうど断層軽く緩和も崩れてきたりなんだから取れなかったっていうことなんでしょうか。
1:02:44	北陸電力一緒ですので、T-1 孔のこの断層を確認した 130m よりも上の部分につきましてはあるんですけども、ちょうどこの断層が確認できたかについてはないというような形になっております。
1:02:58	以上です。
1:03:02	規制庁タニです。事実確認できました。つまりこれは、
1:03:06	ここに断層がある種の通りには面等が地表にあるよっていうのと、
1:03:14	繋いでいる。
1:03:16	これはひょっとしたら違う走向傾斜の断層かもしれないけど、地表で見るとは時は何か断層に、
1:03:24	対応するんだという判断をして、これが時は何断層だっていう
1:03:29	評価をしてるってことですね。
1:03:32	ご連絡してですねところは観察の結果からもう破碎部の見かけの傾斜ですとか、そういった状況からもトリガ難関断層に対応するであろうというふうな想定推定をしております。以上です。
1:04:03	はい、事実確認できました。
1:04:16	規制庁のカイダです。今ほどの今のボーリング孔の話。
1:04:21	に関連して、私も 1 点確認させてください。
1:04:26	今 147 ページでお話があったんですが、
1:04:32	これちょっと位置図がこん今後つけるということで、入ってない。これはまたお願いしたいんですけども。
1:04:41	とりあえずこれ今、
1:04:42	この図で見ると、この 45° っていうやつをPと上に伸ばしていくと。
1:04:48	リニアメントのLDって書いてるやつよりも、
1:04:53	なんか、北側の
1:04:56	だからちょっとちょっとした段差がありそうなところぐらいで、
1:05:00	地表に当たりそうなんですけども。
1:05:04	それはこの図でいうと例えば何か平面図で言うと、
1:05:11	方なんですけど、等高線なのか、段差が少しある。
1:05:15	のにならうになってますけど、大体この辺りと考えていいですか。
1:05:24	保育電力の小林です。



1:05:28	御説明見かけの傾斜 45 度伸ばしていくとボーリング兼情報ですので、あくまでちょっと大局的にどう変わっていくかというところは不明確な部分はあるんですが、可能性としましては、
1:05:43	もうちょっとリニアメントの地形NDよりも北側の注記のところに抜けていくという可能性もあると考えております。あと先ほどちょっと段差というふうにおっしゃられたんですけども、こちらのほうは、
1:05:58	左の位置図で言いますと、
1:06:03	ちょっと
1:06:04	いや、生き図の右下のほうから左上のほうにちょっと道路のようなもの、道路がとっておりまして、そのちょっとのノリの法面のところをとらえているので、ちょっと段差が出ているということになります。
1:06:21	以上です。
1:06:23	はい、わかりました。
1:06:27	そうしますとですねここもこれは
1:06:30	単純にこう伸ばしていくと。
1:06:33	NRCともLDとも関係ないところに地表では出てくる。
1:06:40	掛かんかもしれないというか、そういうふうに読めてしまうんですけども。
1:06:45	本当沖側弾丸断層に対応する破砕部が認められたという。
1:06:51	ことで、
1:06:52	これは
1:06:54	これがひょっとしたら
1:06:57	このリニアメントとの関係で、これが、
1:07:02	次が何断層の可能性があるというふうに
1:07:06	判断されたのは、
1:07:07	今ほどの話も考えてみると、ちょっとその辺がよくわからなかったんですけども、そこはどう言う考えで、
1:07:16	対応するっていうふうに関係あっちこちにそういうふうを書いてあるんですけども、
1:07:21	確かにここに断層はあるんですけども、沖側なんなんかの断層、
1:07:27	のなんていうか、文献でこの辺りに、
1:07:32	書いてあるリニアメントに対応するっていうのは、
1:07:36	どういうふうな考えで、
1:07:39	そういうふうを書いてあるのかちょっと
1:07:42	確認したいんですけども、
1:07:44	つまり何かこれ結局。

1:07:46	リニアメントには出てきてないっていうんじゃないかなというの、
1:07:52	ふうにも見えてしまうんですけどもちょっと確認したいのでお願いします。
1:07:58	はい、北陸電力の小林です。こちらのボーリングで入れた断層が岩ながらそこに対応すると考えましたのは、まず対極的に
1:08:11	大きな丘陵地とAを境するようなリガメント部分の知恵があると一理もその近くに
1:08:22	この写真見ていただきますと、それなりに火災を強く受けそうな断層がある。
1:08:29	ということで、地形とボーリングで見られた断層が対応するものだろうというふう
	に判断しております。
1:08:38	具体的な例えばL/Dとの位置関係ということになりますと、リニアメント変動地
	形はあくまで地表で見える地形ですので、例えば本来はもう少し、
1:08:53	全員にそういう傾斜変化があったものが、
1:08:58	こちらの右側という川がすぐ近くを通っておりますので、
1:09:02	そういった川の侵食で崖がこう南側に削られていて、現在ちょっと単純に地表
	1、
1:09:09	断層を基本に延長した推定値とL/Dを比べると、
1:09:15	少し断層が、の方が税のほうに出ていってると。
1:09:19	いう可能性はあるのかなというふうに考えております。
1:09:24	あとは
1:09:26	ですね。
1:09:28	うん。
1:09:31	55 ページ。
1:09:33	のほうをちょっと見ていただきまして、
1:09:35	それで反射法探査もやっているんですが、
1:09:40	こちらの測線が先ほどボーリングの位置のほぼ横通過して南北に伸びるよう
	な形でやっておりまして、
1:09:48	2、そのボーリング挙動として見ても、今、断層の解釈できるところというのが
1:09:55	ある程度合ってきていると。
1:09:57	というようなこともありまして、
1:09:59	そういった情報も含めまして、
1:10:02	ボーリングでの断層が
1:10:05	続けて見ているというような長い断層に対応しているというふうに判断をしてお
	ります。
1:10:10	以上です。
1:10:17	はい、規制庁のカイダですが、

1:10:19	わかりました一応そういうことで、いろんな考えで、
1:10:25	持って可能性があるということ。
1:10:29	ということで今確認できました。
1:10:31	ただですね
1:10:33	そこはだからちょっと考え方を覚えていただきたい。
1:10:38	なと思いますんでというのは7ページとかで、
1:10:42	何で今回見直したかっていうと、
1:10:45	7ページで言うと①番で実際に
1:10:49	何か。
1:10:50	何とか文献で指摘する断層、
1:10:54	リニアメントに対応する断層か確認できたというのがあったから、
1:11:00	②③みたいな、
1:11:03	のがあって、
1:11:04	②③というのを別に
1:11:07	積極的に
1:11:10	なんですかね、活構造であるということを示すものではなくて、
1:11:14	断層に①っていう
1:11:18	リニアメントに対応実際対応する断層があったけど、
1:11:23	それを何かいろんな
1:11:26	調査をもってしても完全には何かちょっと否定できなさそうだから、
1:11:31	評価を見直したということになりますので、
1:11:35	①っていうのが今ほどの説明でちゃんと対応するのがあったんだっていうんで先ほどみたいにちょっとずれてるけど、ちゃんとそこはこういう考えで対応すると考えたっていうのはわかってわからないと、ちょっとこの資料上わかりにくいので、そこはお願いしたいと思います。
1:11:57	はい、堀越電力の小林です。了解いたしました。そのように記載をしたいと思
1:12:12	います。
1:12:12	規制庁タニです。
1:12:14	えっとですね、
1:12:17	ちょっとコメント回答で、今回新しく
1:12:21	資料化されているところについて確認していきたいんですけど。
1:12:27	186ページ以降のですね、海域の地質層序についてということで、これコメント回答で、

1:12:35	資料いろいろ追加してくれて、コメントとしては平均経平均堆積速度を用いた層は続いての妥当性を説明することっていうことだったんですけど、結局そのコメント書い
1:12:51	No.9 に対する回答というのをもう一度ですねこの辺ちょっと要約して、どこが最もこのポンプを今回の資料のポイントなのかみたいなの。
1:13:02	要約してもう一度説明してもらっていいですか。
1:13:08	北陸電力の一緒です。
1:13:10	今回のコメントナンバー9 番の平均金堆積速度に関するコメントにつきましては、193 ページに、その検討結果っていうものをまとめさせていただいております、
1:13:23	一つは片山池原 2001 という。
1:13:27	文献から持ってきたRC179 とRC580 という。
1:13:33	ボーリングデータ、もう一つは、天然ガス鉱業会大陸棚石油開発協会 1 緊急にという、
1:13:41	文献から持ってきた基礎止水金沢沖と金沢大きい値のxと。
1:13:46	言うた四つのボーリングのデータを使って平均堆積速度それぞれ推定しています。
1:13:53	別途、
1:13:54	片山池原 2001 の日本につきましては、
1:13:59	etですね、2.45 万年前までの総厚から推定した平均堆積速度から、
1:14:07	後期更新世規定までの総厚を推定していると。
1:14:10	県年額工業会のほうは逆に更新世規定までの層圧空平均堆積速度を推定して、
1:14:18	後期更新世規定までの増が透水です。
1:14:22	なので、内装外装いずれにしても、平均堆積速度と、
1:14:26	から推定した層厚と、我々が想定している時代性が一致しているということを検討した結果をここにまとめさせていただいていると。
1:14:35	というのがコメントNo.9 の回答の概要となります。以上です。
1:14:46	規制庁たんです。
1:14:48	はい、言わんとしていることを怒ったんですけど、この平均変位堆積速度がすいませんねちょっと素人的な質問かもしれないですけど、左側の二つ、片山池原で 6.6cmだとか 2.2cmだとかっていう数字等、
1:15:05	右側の
1:15:07	天然ガス鉱業会とかっていうので、結構建っ大きな値が使われてますけど、この辺の違いっていうのはどうどうい

1:15:16	違いなんですか。
1:15:22	北陸電力のノハラです。
1:15:24	これらにつきましては
1:15:27	実際その文献に書いてあるあたりそのまま
1:15:32	使っております。
1:15:33	各地点ごとにこういった平均堆積速度ばらつきがありますが、
1:15:40	あとそういったばらついた値のいずれを使いましても、
1:15:43	我々が今、B案BITS層境界としているところよりも、
1:15:48	その 12.5 万年前推定した層圧というのは、その浅い側に来ると内側に来ると。
1:15:55	それぞれの文献の図がそのばらつきにつきましては
1:16:00	各文献の
1:16:03	根拠によりますので、ちょっとそこまではわかりませんがそういったばらついいただいて使っても、あと同じような結果になると。
1:16:11	そういった今の資料のつくりになっております。以上です。
1:16:17	規制庁タニする考えはわかりました。ありがとうございました。
1:16:25	あとはですね。
1:16:28	ちょっと確認といったところなんですけど、176 ページ、これも個別の
1:16:35	76 ページ。
1:16:38	個別のコメントに対しての
1:16:42	これと、
1:16:44	じゃないのか、すいません 176 ページで、
1:16:48	もうこれ
1:16:51	沖積の段丘
1:16:54	本申請のベンチの話をごここでされてるんですけど、
1:17:00	渡辺ほか 2015 に対しての御社の考えっていうのが書かれてるんですけど。
1:17:06	これは私の沖積に沖積だけこの
1:17:11	グラフで赤で示されている 4.5 メーターとか 4 メーター-3.5 メーターとか、こういったものに対しても調査されたっていうのは、資料になってるんですけど、これその他の例えば、
1:17:25	M1 の話だとか、
1:17:27	このグラフには、一、二だとか、いちいちだとか、こういったのもプロットされてるんですけど、この辺りもどうなんですか、御社の考えとは異なってるんですよ、このこの沖積の話以外は、
1:17:43	御社の評価とは、

1:17:45	成功しているのか成功していないのか。
1:17:48	ていうのをちょっと確認させてください。
1:17:53	陸電力の小林です。まずM1のほうにつきましては、この上の図で黒丸で示されているところになるんですが、
1:18:07	志賀原子力発電所の辺りの近くですね、近くの20から30ぐらいにロックされているところにつきましては概ね当社も店高位のJA段丘I面が同じような高度に分布するというふうに
1:18:23	考えております。しかし一方で、堤堤売る紙というふうに書いてあるところの黒丸につきましては、Code上がっていったというふうにされているんですが、
1:18:37	ここに関してはちょっと見解が違っておりまして、ちょっと資料が分かれてしまっていて申し訳ないんですが、トリガながん断層の
1:18:48	ところになりまして、
1:18:52	近傍10
1:18:54	1ページ、152ページ。
1:18:57	のほうに、
1:18:58	ちょっと見ていただきまして、
1:19:03	で、こちらの方が
1:19:06	えっとですね。
1:19:07	ちょうど先ほどの図で黒丸がちょっと4050メートルというふうに言いたくなっているような部分になっておりまして、
1:19:16	こちらに関しましては、我々としましては、
1:19:21	M1という暖気改正ランキン面ではなくて、子育て面だったり、隠岐扇状地面という線が違う違う、地形面だというふうに判断をしております。ですので、ちょっとそこは見解は、
1:19:36	違っているということになります。
1:19:40	僕はいいですね。
1:19:43	すみませんまた
1:19:45	176ページのほうに戻っていただきまして、
1:19:49	高位段丘面のほうですね。
1:19:52	このうちの
1:19:54	12面、
1:19:56	そうですね。一、二というふうに白四角で書いてあるんですが、こちらに関しましても、質疑という、あるところの
1:20:06	上にあります。
1:20:08	四角のところ、

1:20:10	この辺りに関しましては、のボーリング等を行いまして、
1:20:15	線につきましても、当町層に 10 メーター-20 メーターの厚い不正砂層が載っているというふうに評価しております、ここもちょっと見解が食い違っていると。
1:20:28	いう状況になっております。
1:20:33	説明は以上になります。
1:20:35	はい、規制庁投入するそうですねあの多分つまり御社の段丘面て 42 ページとかに書かれているようなとこ総観認定しているのと、その辺も違っているのがあるっていうのが、
1:20:49	3 これから参考だから書かれないのか、よくわからないんですけど、何か何を言いたいのかをちょっと
1:20:58	この資料からですね
1:21:01	どういうところが御社の見解当行違ってるのかっていうのをちょっとはつきりさせて説明していただけたらなというのを思いますけど、よろしいでしょうか。
1:21:14	はい。法理クリニックのコバヤシです。
1:21:17	この 176 ページのほうでベンチに
1:21:22	特化して記載しておりますのは、ここではというような岩相からここで沖断層、
1:21:29	の
1:21:30	実行としてとして繋がるか繋がらないかという話で、そこは一応私、この資料の背景をわかってるつもりなんですけど、言いたいのは、そそこだけじゃなくて、注意とかでも見解が違うのであれば見解が違っているということがどっかに
1:21:49	書かれた方がいいんじゃないんですかっていうようなところですよ。
1:21:53	はい。了解いたしました記載いたします。
1:21:59	あと 1 点をですね、218 ページにコメントNo.6 の回答ということで、
1:22:09	えっとですね。
1:22:11	これ水準測量の結果っていうのを載せていただいているんですけど。
1:22:16	これって何ていうんですかね、起点を決めて期間を期間的時期をおんなじ時期を更改書いてるわけなんですけど何か時系列でこう 1.1. まとめるとか、そういった法科わかりやすいんじゃないのかなと思って。
1:22:34	出まして、変動が各地点でどういう傾向があるのかっていう話でするんであればですね。
1:22:41	そういうまとめ方をしていただきたいんですよね。
1:22:48	これちなみに観測期間これ確認なんですけど、観測期間で
1:22:55	1916 から 1、1900 年、次は 1928 年ということで計測してる時期が 1900 年の後は 1916 年、そのあとが 1928 年、そのあとが 1949 年っていうことを意味してるんですか。

1:23:14	堀はい。
1:23:17	北陸電力の小林です。
1:23:20	一応こちらの書き方としては、まず 1900 年に向かってですね約 16 に諮って、その差分をとっている。
1:23:29	そのあとの期間もどうも雇用にサブの取っていつているということになります。以上です。
1:23:39	うん。わかりました。ちょっとですね、多分この地点がどういう動きをしているのかって話をしたときに、この色を確認しながらこう上がって、次の時下がってとかいうのを見ていかなきゃいけないところがちょっと見づらくてですね。
1:23:54	できれば支店ごとに何か線が浜岡とかで、こういったのをまとめているような例があるんですけども、そういったのも参考にさせていただきながら、
1:24:04	整理をしていただけたらと思いますのでよろしくをお願いします。
1:24:13	はい。取り組んでいくのコバヤシです。了解いたしました。そのように、ちょっとまとめたいと思います。
1:24:26	規制庁のカイダです。
1:24:28	私の方からも別の話でと。
1:24:32	資料でいきますと、
1:24:36	63 ページ。
1:24:42	63 ページで今回、
1:24:47	リニアメントが追加になったっていう話があったかなと思うんですけども、
1:24:53	具体的に言うところの。
1:24:55	平面図で言うと、
1:24:57	CC' 断面のところを跨ぐように、
1:25:02	青い線が 1 本とそこのちょっと下に矢印がついたという。
1:25:08	ところだと思うんですけどこれまずちょっと表記の問題で、
1:25:13	直線上の CC' 断面に直線上の谷っていうのが、
1:25:18	書いてあって、
1:25:20	この基盤はついているのが何かっていうと、
1:25:24	けば低下がを示すと凡例にあって、
1:25:29	ちょっと直線酷なのか、何かこう高低差を読み取っているのか。
1:25:35	その辺りがちょっとよくわからないんですけども、これは、
1:25:39	直線こもこういった
1:25:43	うん。何とか記号で今全体を示してある、この資料上全部そういうふうにしてあるんでしょうか。



1:25:53	はい、北陸電力の木村です。直線上の谷のところに今ほどおっしゃられた西縁のDランクのリニアメントを記載しておりまして、これにけばがついているというこの競馬のついてる方向は低下がお示してるんですけども。
1:26:11	要するにこのタニのところで、東側が、
1:26:15	低い地形を
1:26:18	地形が見られるということを示しているということになります。
1:26:23	以上です。
1:26:29	はい。
1:26:31	わかりました。これ直線上の谷と言いながらも、
1:26:36	何とか地形の高低差も見ているということで、
1:26:42	ここに限らず他のところで、ただの直線国みみたいなのがあった場合は、
1:26:50	ちなみになんですけど、どういう表示になっているのでしょうか。
1:26:54	何か特にそういうのは出てこないんですか。
1:27:00	北陸電力の木村です。
1:27:05	福浦断層で言えば、すぐ全長にわたって東合わし低い堤外っていうのは見られますんで、けばつきになっておりますけれども、ほかの断層ですと、
1:27:18	基盤のない
1:27:21	いやベントっていうのは示されております。例えば、
1:27:26	50 ページ、
1:27:30	ですね。
1:27:33	50 ページ見ていただきますと、
1:27:39	そうですね。例えば 22 番。
1:27:45	溢水中をリニアメントっていうところでマーケDランクなんですけども、青線、
1:27:51	競馬つきのものと基盤のない
1:27:54	1000、
1:27:55	二つ、2 種類ありますけども、牙つきのものは、こちら側が
1:28:02	北側類とか、どちらか一方は低いっていう状況が見られるっていうことを示しております、競馬のないものについては、ただ、
1:28:14	さらにまたにつけ、
1:28:16	ですとか、そういうそういった地形予想を判読しているんですけども、そういった
1:28:21	どちらか一方が高いとか、
1:28:23	低いとかいう高低差はないというものについては、
1:28:30	パーツつけずに、
1:28:33	ただ線だけで示していると。

1:28:36	こういう表記の仕方をしております。以上です。
1:28:42	はい、わかりました。カイダでしよわかりません状況わかりました。
1:28:46	またその 63 ページに戻っていただくと
1:28:51	浸水断面の直線上の谷っていうのが書いて、今回追加になったということで、
1:28:59	そこにそこ挟んで 12 っていうのがあるよ。
1:29:03	ありますけど。
1:29:06	別にこれ見るとこの CC' 断面を見ると、東側が、
1:29:11	低くなってるかっていうと、同じとこさ、
1:29:15	このもしくは西のほうが低い。
1:29:19	ぐらいのようにも、
1:29:21	見えるんですけども、これ。
1:29:24	高低差を読んだっていうのは、
1:29:26	どっかで
1:29:28	何かわかる図面というのは今回あるんでしょうか。
1:29:46	北陸電力のノハラです。
1:29:48	今ほどファイルさんおっしゃいました 63 ページの指示出し駄目につきまして
1:29:52	は、直線上の谷と書いてある両側の 1 年、こちらの段丘面の高度差を判読しているわけではなくて、
1:30:01	単純に
1:30:02	直線上の谷と書いてある矢印のすぐ下にだけ地形が、
1:30:08	あります。その崖の機器を呼んでいるということで今牙つきの D ランクのリニアメントを記載しております。
1:30:18	ほんで地形要素としてこの段丘面の高度差ではなく、
1:30:22	だけ地形を判読していると。そういった位置付けになります。以上です。
1:30:30	はい。規制庁のカイダです。
1:30:34	青わかりましたじゃそうすると例えば 65 ページとかでもちょっと拡大図があるんですが、
1:30:42	タニのタニ筋の真ん中を通っているような部分も多いんですけども、
1:30:49	これはちょっと先ほどの説明等、
1:30:53	じゃなくてこの谷筋の真ん中を通るんじゃなくて、もうちょっとこう斜面の部分を引いているというそういうイメージなんでしょうか。
1:31:05	はい、北陸電力のノハラです。そう、そういった解釈になります。以上です。
1:31:18	規制庁タニですけどちょっと関連なんですけど。
1:31:23	ここで、

1:31:25	今の話っていうのはあれですよ。
1:31:27	競馬の方向低下側っていうのは、
1:31:31	変動地形のだなんていうんですかね、落差の方向を示してるわけじゃなくて、崖の地形面の落ちてる方がだけの面がこっち側に落ちてるっていう意味をしてるっていうことで理解しました。それで、
1:31:47	御社のほうね空中写真の
1:31:51	判読基準っていうのが 48 ページにあって、
1:31:54	何か。
1:31:55	曲がっ系だとか鞍部だとか水系の屈曲だとかこれよく見るような
1:32:03	表なんですけれども、例えば鞍部なんかこう見ていくと結構タニの地形だとかギャップが系だとかっていうのをよく読んでるんだと思うんですけれども、この鞍部が連続するとか、そういったことっていうのは何か。
1:32:20	三つ見てちゃんと見ているんですかというのが 65 ページの
1:32:27	この青のリニアメントですね、これはさっき行けばこれ、
1:32:31	北側ってこれ鞍部ですよ。
1:32:34	で、
1:32:35	南側も行くとか何か鞍部ってありますよね、こういうのはどういうふうな評価をしてるんです
1:32:43	御社で鞍部があったら連続的なものがあったらそこを広くっていう話と、何かこれ見てて、
1:32:53	どういう評価なのかなっていうのがちょっと気になったんで確認しています。
1:33:03	北陸電力キムラです。
1:33:05	今ほど 65 ページのところで、リニアメントが引かれたところの上、
1:33:15	上といいますか、北側ですね、北側の段丘面になりますけども、
1:33:21	日本段丘面には高低差っていうのはなくて、
1:33:26	そういったところから
1:33:29	リニアメントは、
1:33:31	段丘面までは引いておらず、 $\frac{1}{2}$ のところまで、
1:33:39	段丘面を 2 画面等を求めたというふうにな考え方で図示しております。南のほうにつきましては、
1:33:50	今鞍部等されたのは、
1:33:55	及び段丘 I b 面、
1:33:57	ていう
1:33:58	ところのさらに南側のところ、

1:34:02	でしょうか。えっとですね、タニですけど、高位段丘 I b面の青い矢印があって、青い矢印の先端のところってこれ
1:34:12	鞍部ですよ。
1:34:14	じゃないんですか。
1:34:16	北側はもう
1:34:19	青い線が止まるところのちょっと上ってこれ鞍部っていうんじゃないんですか。
1:34:27	WILLキムラです。こういう段丘 I b面の矢印の先端のところなんですけども、確かにコンター見ると、
1:34:41	凹んだ部分がへこんでいるように見えるんですけども、まあ、連続するようなものでは、
1:34:47	ないので、リニアメントとしては図示していないと。
1:34:52	というような考え方で
1:34:56	雨水をリニアメントの図示をしております。以上です。単月お考えを確認できました。
1:35:06	規制庁のカイダです
1:35:09	先ほどのところの確認して
1:35:14	段丘面の高さを読んでるの役定がKー何とか三田今ある崖の
1:35:21	どっち側の崖が書いてあるっていうところでお話があったんですけど。
1:35:26	そういった意味だったと、例えばその、
1:35:29	65 ページの緑の線はそういうふうな形で書いてあって、官等谷筋の真ん中じゃなくて、どっち。
1:35:38	期は 2 回であるんですね。
1:35:41	青の方はでもそういう意味でいくと。
1:35:43	半分より北側っていうのは、単にのど真ん中をこうする谷筋を書いてあるように見えて、
1:35:50	本南の部分はちょっとそうでもないかもしれないんですけどそこは
1:35:54	先ほどの説明と少しこの谷筋の真ん中落としてるのはちょっと何かこの部分はちょっとずれるっていうふうに
1:36:05	ことでしょうか。
1:36:21	北陸電力のノハラです。
1:36:23	今カイダさんが指摘されたところにつきましては、実はちょっと我々もこの議案の件はつけるかつけないかちょっと悩んだところでありまして、この下のほうに大間崖の基部読んでるということで基盤をつけてそれと一連ということで、
1:36:39	気をつけたんですが、今の御指摘踏まえまして、この辺の記載も細かくしてタニおよんでるところにつきましては、現場を消すような

1:36:50	ベント表記に見直したいというふうに思っております。
1:36:54	以上です。
1:36:57	はい、カイダです。
1:36:59	いずれにしてもそちらのほうで判読された中軸忠実にそれが読み取れるような図で評議表現していただきたいのでお願いします。なんなその中身についてのこれアクサの表現がちゃんと
1:37:16	そちらの評価が読み取れるような記載にお願いしたいということでお願いします。
1:37:20	いやそれと関連してですね今回。
1:37:25	リニアメントか付け加わったことで、端部の評価で、
1:37:30	90 ページをお願いしたいんですが。
1:37:37	で、90 ページの真ん中の図ですねL/Dというのはつけ加わりましたと。
1:37:44	その南にこうなんですか。
1:37:48	緩斜面がつけ加わって、
1:37:51	それをずっと結んでいくと大坪側ダムっていう書いてある文字の
1:37:58	大坪か。
1:38:00	坪とか、そのあたりを通るような何とか数字で、
1:38:06	ずっと下を見ていきますと、
1:38:12	打つ範囲と書いてある航路等価表土はぎした場所があるんですけども、
1:38:18	ちょうど表土を剥ぎをして確認した箇所の子のところよりも、
1:38:24	なんかそのまま直線で物差しで引いて延ばすと確認した箇所よりももっと西側あたりにL/Dというのは、
1:38:33	の案何とか延長部、基礎なんですが、
1:38:40	表土はぎの箇所を今ここに示してあるんですけどこの西側の部分っていうのは、
1:38:45	特に
1:38:46	次の 91 ページとかを見ても、
1:38:49	データはないんですけどもこっちのほうはなんか
1:38:53	調査結果とかは、
1:38:55	ないんでしょうか。
1:39:02	北陸電力のノハラです。
1:39:05	どう。
1:39:06	濃度の新しく追加しましたLDの南側の延長につきましては、89 ページの
1:39:13	まずD' 断面、断面を見ていただきますと、
1:39:18	こちらの断面がスパーカーダムと書いてあるすぐ下のほうの

1:39:23	こういう段丘 I b面、
1:39:25	のところを横断するためになりますが、このB'断面のこの左側に、
1:39:30	記載されてます一番b. こちらにCCb出してために見えるような東側の傾斜が見られなくなっております。
1:39:38	さらに南のほうに行きまして、同じく 89 ページのSES1'断面、
1:39:44	こちらが今ほどのはっ 90 ページで表土はぎを行ったところの
1:39:49	少し西側のほうにかかっているところのこの段丘 I a面がありますが、こちらの地形断面になりますが、
1:39:56	こちらのほうでも、そういった変形等は見られないと、こういったリーダー市ですとかSGTSインダ市ですとか、これ段丘面に変位変形がないということで、
1:40:08	いやまたは延長しないのではないかとというふうに考えております。
1:40:11	また表題につきましては今ほど示してある範囲、
1:40:16	しか話かと思いますが、範囲をがすべて示している状態ですので、こちらから西側につきましてはこういった段丘面のほうで、本件がないというふうに
1:40:28	評価をしております。以上です。
1:40:34	はい。わかりました。
1:40:36	とりあえず倉庫 89 ページにですねD'断面のところに同じく
1:40:45	もともと書いてあったリニアメントのほうに延長位置とかっていうのは表示がされているんですけども。
1:40:53	今回追加になったところの延長位置は延長位置っていうのが、
1:40:56	ないので、
1:40:58	そこは
1:40:59	追記してわかるように、
1:41:02	ておいていただきたいので、
1:41:04	お願いします。
1:41:06	あと 89 ページのこの地形図は、
1:41:10	もともとのデータは何なんですか、出向かなんかで、結局
1:41:16	1mあるかないかの
1:41:19	そういったものがわかるような精度のデータで書かれてるのか。
1:41:24	9 の確認したいんですけど、もともとこれは何のデータで書かれているんでしょうか。
1:41:34	クレーンジブのノハラです。89 ページの右側の地形断面図につきましてはごくレーザー計測によります 1mDEMでありましたデータをもとに作成しております。
1:41:49	以上です。

1:41:51	規制庁書いてあるわかりましたじゃそのそういった情報もこのページのどこかに書いておいていただきたいので、よろしくお願いします。
1:42:04	北陸電力ノハラです。了解いたしました。
1:42:06	以上です。
1:44:00	規制庁の谷です。
1:44:03	157 ページのリニアメント変動地形の判読でこれ北側の判読されて、
1:44:11	御社の判断としては、直線上の急崖をずっと下から追いかけてきていて、
1:44:19	今今泉のほうはもうちょっと北まで屈曲水系の屈曲を見てるわけですけど、御社のほう、
1:44:28	直線上の急崖が終わるところまでこう見てるけど、その直線上の急崖のその先に
1:44:36	急崖以外の何か地形判読要素もきっちり見て、ここを
1:44:42	決められてるっていうことで、その辺はいいですよね例えばこの北側に鞍部の連続だとかですね、何か
1:44:52	川の河川の屈曲だとかが、
1:44:56	ないっていきちっと判断をしてここを
1:44:59	来北端にしてるって言う説明と理解していいですか。
1:45:15	北陸電力のノハラです。
1:45:17	当 157 ページにつきましては
1:45:21	地形要素としまして、
1:45:23	急崖がさらに北ということになりますが、例えばその崖目。
1:45:29	資料にも書いてあります通りだけの延長部を横断する尾根に高度差は認められないですとか、そういったことも見ております。
1:45:36	そういった急崖以外の地形要素も売られて判断と評価した上で、リニアメント変動地形の北端としては、この 1 としております。ただし今その
1:45:52	リニアメント変動地形のその北端よりも北側といいますのが沖積層ですとか、そういったところで、その地形要素がはっきりわからないと、そういった不確定なところもございますので、
1:46:03	当社としましてはこのときが 7 断層の端部につきましてはやめと変動地形の北端ではなくて、さらに北方
1:46:10	まで延ばした評価というふうに考えております。
1:46:16	16 を用いてそういった北端を決めております。
1:46:20	以上です。
1:46:22	規制庁単位でその重力を用いてっていうのが 165 ページとかに書かれている内容ということですね、これ。

1:46:29	あれですかね現地のさつきも話ちょっと出ましたけど、現地の踏査とかそういったことも、これはされている上で、
1:46:38	今のこの北端って決めてるんですか。
1:46:45	電力の小林です。
1:46:47	現地の踏査もやった上で、重力のほうを使って端部を決めているということになります。以上です。
1:47:10	規制庁タニです。
1:47:16	規制庁ナイトウですけど、ちなみに、今今泉の端部をずっと延ばしていくと、結局、Dランクのリニアメントがまた出てくるんだけど、そこに至らないっていうのは、北陸電力としては何を根拠に判断されてるんですか。
1:47:48	北陸電力の浜田です。
1:47:52	最終的な止めは重力ですので重力異常の今ここで割れが見ている鉛直一次微分の全部0メートルの所がその西8に行く2社ちのところとの手前といいますか、違う方向で
1:48:08	思っていますので、日あったその西和智リニアメントになってきてるんですけども、それとは違う構造であると判断しております。以上です。
1:48:18	規制庁ナイトウですけども、確認ですけども、そうするとDランクのリニアメントに連続するかどうかについては、見ていないということによろしいですね。
1:48:35	北陸電力のノハラです。
1:48:37	このさつき江藤延長上にありますDランクのリニアメントというのはけばの方向が建家長さとは逆ですので、この地形要素がトリガナガノさんとは異なりますので、
1:48:51	そういったものの連続しないというふうに評価しております。以上です。
1:50:22	規制庁サグチですけども、ちょっと幾つかって言うのか教えていただきたいんですけど。
1:50:29	今日最初のほうにですね。
1:50:34	今評価している断層について、
1:50:37	文献ではどうやって言われているのか。
1:50:40	御社はそう、そういったものも含めてどういうふうな調査をして、どういう評価をしたのかっていう確認があったと思うんですけど。
1:50:51	で、そのうちの
1:50:53	一番最初の導入の部分ですね、文献調査のところちょっと教えていただきたいんですけど。
1:51:00	例えば47ページで、これはあくまでも陸域の半径30km、
1:51:06	の範囲ということで、



1:51:09	示されているんですけども、これはあくまでも主なものっていう形で三つほど挙げられていて、
1:51:19	例えばなんですけれども、
1:51:21	それが福浦断層とかの評価でどうなってるかって言うと 62 ページで、
1:51:32	さっきの挙げていた文献の三つのうち二つしか使っていなかったり、逆に言うと、それ以外のものがここに何か書かれてはいるんですけど。
1:51:46	何かその辺りの
1:51:49	違いというのか、なぜ具体的に言うとさっきの三つ出していただいて、一番左のものですよね。
1:51:58	これ、これって、なぜ用いていないのかって言うのと、
1:52:03	あとは、
1:52:04	そういった文献で、例えばこの断層については今の図だけしか書かれてないんですけども、例えばどういう層厚でどういう経営者でどういう運動センスのものかとかっていうのは、
1:52:20	書かれているのか書かれてないのかちょっと教えてもらっていいですか。
1:52:32	北陸電力の浜田です。
1:52:35	まずあの文献の 47 ページ左に書いてある活構造図
1:52:42	について実際あの敷地の 5 キロ圏内と言えば、福浦断層等、永田付近については記載がありますので、
1:52:53	今文献のまとめるときにはそこについても書かさせていただきます。あと、それぞれの例えば作ら断層ですと、日本の活断層には当然表の中で、走向傾斜者後は、
1:53:09	確実度とか隆起、そういうのも表の中に書いてありますのでそこについても書かせていただきます。
1:53:16	あとその他の
1:53:20	確実度Ⅲのリニアメントでにつきましては図示のみですので、それぞれどういう文献でどこまで記載がされているのかというのを丁寧に書いた形で資料化させていただきます。させていただきますと思います。
1:53:35	以上です。はい。規制庁サグチさんのありがとうございました。わかりました。ちなみになんですけど、例えば 62 ページでしたって二つあって出なかった今、今泉 2002 棟を今泉 2018、
1:53:51	二つあって、例えば福浦断層の場合は、
1:53:55	おんなじように書かれているのかそれとも違う違った形で書かれているのか。
1:54:02	若干その長さとか位置とかですネ。

1:54:05	で、そういう形でなんかを振っ今二つお礼書かれているのか、上の活断層研究会もそうですね。1980年と1991年と二つあるんですけど。
1:54:20	この違いがあるのかないのか。
1:54:23	ずっと多分これ、後ろのほうに行くと。
1:54:27	特にが何なんでした。
1:54:29	計
1:54:33	のところでは例えば141ページだと、こんな方今泉等、
1:54:38	今泉ほか、
1:54:41	ていうのが2002だとズーツされてないんだけど、2018だとまずいされているんで、多分ここ、こういう何か違いを書かれないのかなとは思ったんですけど。
1:54:53	逆に言うと走向とか傾斜とか含めてこの位置が変わらないんであればですよ。
1:55:01	その福浦断層とか、
1:55:03	これあえて二つ書く理由って。
1:55:07	教えてもらっていいですかね。
1:55:17	はい、他電力、ハマダでございます。まず事実関係からまず申しますと62ページの福浦断層の日本の活断層の場合ですと1980年版と1991年度版ですと幾ら断層は1も記載も変更はございませんし、
1:55:35	デジタルマップにつきましても、2002棟2018では同じ場所になってございます。記載のルールとして永久半島の新版の特に日本の活断層とデジタルマップにつきましても詳細に書かれてございましたのでこの二つを
1:55:53	代表として記載をしておりましたけども、そこにつきましても、わかりましたわかりや同じ文字ベースと同じということがわかるようにしっかり書かさせていただきたいと思います。
1:56:06	以上です。
1:56:08	はい。
1:56:10	規制庁サグチです。わかりましたけど、さらにちなみにべき聞きますけど、活断層研究会とか、
1:56:17	こういった一連のやつでさらに古いやつって。
1:56:22	ないってことでいいですよ、例えば活断層研究会だと1980年より前のものとか、
1:56:29	要はどこまでじゃあさかのぼるんだっていう話もあってですね、逆に言うと、府他のサイトで、例えば古い文献ではこう書かれていた、あったんだけども新しいものではなくなったとか、じゃあその古い文献をもとにどうかっていう話も実はあったりしてですね。
1:56:48	そのあたりちょっと

1:56:50	あくまでも最新のものをを用いるのか、それともさかのぼって幾つか見た上で、
1:56:58	用いるのかって、その辺、
1:57:01	ちょっと教えてもらっていいですか。
1:57:04	はい。
1:57:05	北陸電力の浜田でございますけども、まず能登半島の場合ですと、太田洋子先生の方が1970年代頃に精力的に調査をされておりまして、活断層研究会1980年度版もほとんどが
1:57:22	オダ先生のデータを引用した形でまとめられておりますので、まず、古いほうのデータとしてはです。太田先生のデータをから継続された形で活断層研究会。
1:57:37	が19801991まで、ほぼ同じデータできております。デジタルマップになりますと、ここで判読者がオダ先生以外の方がまとめ始めましたので、ここでまた、
1:57:53	計判読新たにされてないものとか、そういうものが出て、出てきておりますのでこれについても期待を今回はしておりますということで降り方と言ってまず太田先生系のデータとして活断層研究会を代表として、
1:58:10	書いております。あとはエイジアマップで再判読がされたという大きく二つの流れがの担当では行われております。以上です。
1:58:23	はい、サグチですけど、事実確認ができましたのでありがとうございます。先ほどちょっと確認した各各文献とかで、特にその走向傾斜とか、どういったセンスかっていうところだけはちょっとわかるようにしていただきたいと思いますので、
1:58:38	よろしく申し上げます。
1:58:41	はい、ハマダ承知いたしました。
1:58:48	規制庁ナイトウですけれども、えっとね今回挙げている領域っていうのが発電所から5キロ圏内なんだから、そこにきちんと丁寧に
1:58:59	各文献でどういうふうに言われていて来文献の中でどういう編成がされているのかとか、
1:59:05	ていう皆さんがオミットしているリニアメントとかについてもちょっとどう分岐を一定程度の文献を言っていないのかとかですね。
1:59:13	5キロ圏内だっということを念頭にきちんと整理してもらえませんか。
1:59:19	北電の加茂です。承知いたしました。
2:00:04	規制庁の松江です。先ほどの活断層の文献の整理についてちょっと
2:00:14	アシストのデータベースに
2:00:19	ご存知だと思うんであれには
2:00:22	時会社ですとか、日活とか整理とそれに目を根拠の

2:00:29	資料等もう整理してあるので。
2:00:33	それも含めて、資料化していただければと思います以上です。
2:00:40	はい、北陸電力の浜田です。そちらのほうも確認した上でまとめさせていただきたいと思います。
2:00:46	以上です。
2:00:48	規制庁タニですお願いします。
2:00:50	もう時間なので、そろそろ思ってるんですけど、最後に、だから最後
2:00:57	これ5キロ圏内、先ほどお話ありましたけど、5kmの中の話、非常に大事な断層の話をしていると思います。なので、このこれらの断層どういった知見があるのか、もう少し丁寧にですねしっかりとこうあるものを全部入れてもらって、
2:01:15	個別にこの断層はこういった評価をしたっていうのがですね、きっちりわかるようにですね、丁寧に資料としては一つ一つちゃんと説明していただけたらなという趣旨でなんかさ、先ほどコメント調整官の方からもあったと思いますので、よろしくお願いいたします。
2:01:33	あと1点ちょっとこれは
2:01:36	ただの読み方とかの話なんですけど、4ページとかに断層ずっと書いてるんですけど私恥ずかしながらこう読めない断層とかもあって、どこかで何か振り仮名を
2:01:48	一通り地名で難しい事業は1回振り仮名をどっかで振って欲しいなって思ってます、その辺できたらよろしくお願いします。
2:01:57	あと規制庁のほうからはですね、確認事項以上なんですけど、北陸電力から何かありますか。
2:02:06	規制庁の伊藤ですけど、確認行っとね、音波測線、
2:02:11	探査記録集出してもらったんだけど、もうこれブーマーとね。
2:02:17	スパーカーと同じ測線でやってるやつって多分ダブってる部分があるはずなんですけど。
2:02:25	これ、今あるやつは、何かえいやでどっかで区切ってつなげているっていうそういう出し方ですか。
2:02:52	北陸電力のノハラです。
2:02:54	スパーカー飛ぶ間が重複しているところにつきましては、より高分解能のブーマーのほうの記録を優先して示させていただいております。
2:03:05	以上です。
2:03:15	規制庁の後ですけれども、
2:03:17	本当それなんかさ、このさあ測線のNo.見るとさ300から始まったりとかしてるさ全部出てるようにはとても見えないんだけど、それで大丈夫ですか。

2:03:59	その北陸電力のノハラです。
2:04:03	データ集の
2:04:06	2のほうで、
2:04:09	2-1-2 ページに、
2:04:11	出だしにつけております。測線の位置図を示させていただいております、
2:04:19	こちらのこの、今、
2:04:21	ピンクで塗ってあるところにつきましては
2:04:25	それでデイサービス出だしのみとさせていただいております。
2:04:28	途中スパーカーのA測線の途中で切れてるところもございますので、このピンクの範囲にないところにつきましては確かに途中でスパーカー途切れた範囲になっているところも一部ございます。
2:04:41	以上です。
2:04:48	規制庁の伊藤ですけども1とね。
2:04:53	深いところまでよく見えているから、もうのやつはちゃんと全部数測線全部出して欲しいんですけど、みんな200とか300から始まっちゃったりとかしてるので。
2:05:23	北陸電力のノハラです。
2:05:25	枝の方。
2:05:27	前測線だの出してるつまりあったんですが一部そういった隠れてしまってると思いますか、ちょっと優先分類されてないところもあれかも含めて再度確認させていただいて、
2:05:42	そういったところは適正化させていただきたいと思います。以上です。規制庁ナイトウですというね、何が論点かという、兜岩沖等、
2:05:54	討議
2:05:56	何が繋がるかどうかとかね。
2:05:59	基盤島の担保はどうなのかというところを見ていこうとすると。
2:06:06	とその間のところが、スパーカーと部門のちょうど境界のところになっているんですよ。なので、それぞれのやつはちゃんと出して欲しいんですけども、
2:06:25	ブリードのノハラです。示し方としまして測線が重複してる部分、ブーマー優先して出していましたが、スパーカー無難それぞれ重複してる部分も含めて、各測線すべてを出すような形で資料のほうを見直したいと思います。
2:06:42	以上です。
2:06:44	ほいいう適切なですけども、ここで皆さんもう認識をしていって繋がらないってことを一生懸命説明しているわけですから、そのデータをきちんと出してください。よろしくお願いします。

2:07:00	電力の中です。承知いたしました。
2:07:07	規制庁ほかありませんか。
2:07:10	北陸電力は何かございますか。
2:07:17	北陸電力の確認事項はございません。今日のか、事実確認踏まえて網羅的にいろいろ文献だけさせていただいたり当社の評価もしっかり書いてお示しするデータも充実させたいと思います。
2:07:29	ありがとうございました。
2:07:31	規制庁タニですありがとうございました。あとはだから資料が今の段階でどれぐらいかかりそうかとか、もしあれば、
2:07:39	聞いておきますけど。
2:07:47	いや、答えづらかったら別に、後程ロジ的な連絡をしていただけたらいいですけど。
2:07:54	今概ね2週間程度でデータの充実も含めて行いたいというふうに考えています。よろしくお願いします。
2:08:03	規制庁谷筋ができましたら連絡をいただけたらと思います。よろしくお願いします。
2:08:10	それでは、ありがとうございました。はい。それではヒアリング以上にしたいと思います。お疲れ様でした。